

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 2年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス からふるしーど

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
・ 体制 環境 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	2	利用人数が多い場合には狭く感じる事がある。公園、体育館など外部施設を活用している。また、活動を分けやすいように、別途活動スペースを準備中。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	人員要件は満たしているが、児童や職員の顔ぶれにより、不足を感じることもある。また、職員のプライベートな理由により、土曜祝日等に休暇を求めるなど、配置が難しい日は開所できないこともある。新年度から新体制を整え、児童の支援に携わる立場である責任や、組織であることを自覚したチーム作りを行う。
	3	構造化、バリアフリー、情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	応用行動分析学に基づいて構造化を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	一部職員の参画に留まる。職員全体の意識底上げを行っていく。
	6	保護者等に対し事業所評価を実施するなど、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	
	7	事業所自己評価及び保護者評価の結果を踏まえて自己評価を行い、ホームページ等で公開しているか	3	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	0	保護者・職員の評価にとどまっている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	3	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	初期に使用するアセスメントシートがある。また、教育発達学、応用行動分析学を基軸として、現状の把握と次の段階への課題を把握し支援を行っている。
	12	児童発達支援計画は、ガイドラインで示す内容から適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	1	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	1	各職員の得意分野は生かしているが、指導員としての意識の向上が必要。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	今年度からの新体制では、新たな職員を組み込んだ組織再編により、上意下達でスムーズな伝達が行われるよう体制を整える。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	その日行われた支援に関して、全員が共有できる状態を整えている。一部職員は、各児童の支援に関して児発管に具体的に報告するなど、情報の集約をできている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	0	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	医療的ケアが必要な児童は受け入れていない
	24	(医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合)児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	1	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	1	移行支援としては行っていないが、適宜サービス担当者間の必要な情報共有は行っている。
	27	他の児童発達支援センターや支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	個別には行っていないが、必要な研修には参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	今のところ、地域の保育所に通う児童であるため、事業所の取り組みとして障がいのない児童との活動は企画していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	2	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	保護者さまからの相談などに応じる際に、必要な情報や学問を解説する程度にとどまる。今年度は保護者各位の希望を聞き、希望者には具体的なトレーニングを企画する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	0	
	33	児童発達支援ガイドラインに基いた「児童発達支援計画」を示し、支援内容の説明と同意を得ているか	3	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備することにも、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	情報発信に関してはSNSを主に活用してきたが、伝わっていない場合を考慮して、今年度は紙媒体による会報を発行する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	1	2	今年度はイベントの開催を企画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応、防犯、感染症対応に関するマニュアル等を策定し、職員や保護者に周知し訓練を実施しているか	2	1	マニュアルは策定されており、職員の書棚に設置されている。各マニュアルの把握を周知している。保護者に対しては、周知が行き届いていない可能性がある。年に一度の避難訓練は行われたが、定例の訓練が実行されていない為、担当者を変更した。今年度の新体制では適切な対応が期待される。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	
	43	事前に服薬、予防接種、癲癇発作等、児童の状況を確認しているか	2	1	受入れの際、必ず保護者に確認し、該当がある場合は記入をお願いしている。現在医師の指示書が発行されている食物アレルギーを持つ児童の在籍はない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	1	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	1	ヒヤリハット事例が最近は起きていないのか、事例集には最近追加されていない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	職員研修の中に、虐待防止、身体拘束に関する情報を含めている。記録の徹底を周知している。